

■一般目標（GIO）

無歯顎の患者の口腔内と同様の三次元的関係に位置付けられた無歯顎模型上で全部床義歯を製作するために、その理論的背景、技術および製作方法を習得する。

■到達目標（SBOs）

- ・全部床義歯の構成要素を説明できる。
- ・全部床義歯の維持、安定および支持について説明できる。
- ・模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。
- ・全部床義歯の製作方法を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：配付プリント

■授業時間：木曜日 18：50～21：15

■オフィスアワー：木内 香（kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp）木曜日 16：00～17：00

■成績評価：実習製作物（90%）と観察記録（10%）で評価する。

■注意事項：教科書、配付プリントおよび実習に必要な用具を持参すること。

■授業方法：実習形式、実習講義を基に全部床義歯の人工歯排列を行う。

■準備学習：事前に教科書および配付プリントを読んで、実習内容を理解しておくこと。

■準備学習時間：準備学習に必要な時間（1時間程度）を充てて復習を行うこと。

■実務経験：木内香；歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を基に、歯科臨床に必要な基礎的事項を教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学（全学年）、顎口腔機能学（1・2年）、全部床義歯技工学実習（2年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月2日 木内 香	講義 1. 全部床義歯の特性 1) 全部床義歯の構成要素 2) 全部床義歯の種類 3) 全部床義歯の製作順序 (教) pp. 19-30	・全部床義歯の構成要素である義歯床と人工歯を説明できる。 ・床用材料による分類を説明できる。 ・使用目的による分類を説明できる。 ・全部床義歯の製作順序と実習で製作する全部床義歯の製作順序を説明できる。
第2回 10月9日 木内 香 他	講義 2. 精密印象と作業用模型 1) 作業用模型製作 2) 咬合器点検 (教) pp. 38-40 3. 咬合床製作のための作業用模型の処理 1) 床外形線の記入 2) 基準線の記入 (教) pp. 41-42 実習 2. 精密印象と作業用模型 2) 咬合器点検 1) 床外形線の記入 2) 基準線の記入	・精密印象と作業用模型を説明できる。機能的および審美的基礎知識を説明できる。 ・解剖学的ランドマークを列挙できる。 ・咬合器の点検を行い、不具合を確認する。 ・咬合床製作のための作業用模型の処理を説明できる。 ・作業用模型上に、義歯製作の基準(床辺縁部、正中線、歯槽頂線、レトロモラーパッド前縁)となる線(設計線)を記入し、作業用模型の処理を習得する。
第3回 10月16日 木内 香 他	講義 3. 咬合床製作のための作業用模型の処理	・咬合床製作のための作業用模型の処理を説明できる。 ・作業用模型上に、義歯製作の基準(床辺縁部、

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	1) 床外形線の記入 2) 基準線の記入 (教) pp. 41-42 実習 3. 咬合床製作のための作業用模型の処理 1) 床外形線の記入 2) 基準線の記入	正中線，歯槽頂線，レトロモラーパッド前縁）となる線（設計線）を記入し，作業用模型の処理を習得する。
第4回 10月23日 木内 香 他	講義 4. 咬合床 1) 咬合堤圧接 2) 基準線の記入 (教) pp. 44-47 実習 4. 咬合床 1) 咬合床の圧接 2) 基準線の記入	・ 全部義歯製作で咬合採得に用いられる基礎床と咬合堤から構成される咬合床を説明できる。 ・ 標準値で標示線（標準線）を咬合堤の唇側面に記入し，咬合採得後，前歯部の人工歯選択や排列の基準となる事を説明できる。 ・ 既製の咬合床を作業用模型に圧接し，圧接の方法を習得する。 ・ 咬合床上に標準線の記入を行い，記入の方法を習得する。
第5回 11月6日 木内 香 他	講義 5. 作業用模型の咬合器装着 1) 咬合器の調整 2) スプリットキャスト 3) 作業用模型の装着 (教) pp. 49-52 実習 5. 作業用模型の咬合器装着 1) 咬合器の調整 2) スプリットキャスト	・ 咬合器の各調節機構を理解し，咬合器の取り扱いを説明できる。個人トレーの目的と製法を説明できる。 ・ 半調節性咬合器の矢状顎路傾斜角および側方顎路傾斜角を設定し，顎路角の調整方法説明できる。 ・ スプリットキャスト法を学び，作業用模型の基底面にスプリットキャストを設定できる。 ・ 咬合床を咬合器の基準に合わせ，装着する方法を理解する。
第6回 11月13日 木内 香 他	実習 5. 作業用模型の咬合器装着 3) 作業用模型の装着	・ 咬合床が圧接された作業用模型を咬合平面板を用いて咬合器の基準に合わせて装着する方法を習得する。
第7回 11月20日 木内 香 他	講義 6. 人工歯排列 1) 人工歯の特徴 2) 上顎法の排列 3) 上顎前歯部排列 4) 下顎前歯部排列 (教) pp. 56-64 実習 6. 人工歯排列 3) 上顎前歯部排列	・ 人工歯の材質および形態を学び，人工歯の特徴を説明できる。 ・ 全部床義歯の維持安定および審美性を考慮した排列法を説明できる。 ・ 上顎法で排列する方法を説明できる。 ・ 上顎前歯部は，下顎咬合床を基準に審美性を考慮した排列法を説明できる。 ・ 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し，前歯部排列法を習得する。 ・ 上顎前歯部排列において，器具の使用法を習得する。 ・ 対合歯の水平被蓋，垂直被蓋を考慮して下顎前歯部排列を行い，下顎前歯部排列法を習得する。
第8回 11月27日 木内 香 他	実習 6. 人工歯排列 3) 上顎前歯部排列 4) 下顎前歯部排列	・ 前歯部切縁は下顎咬合堤外縁を基準に排列し，前歯部排列法を習得する。 ・ 上顎前歯部排列において，器具の使用法を習得する。 ・ 対合歯の水平被蓋，垂直被蓋を考慮して下顎前歯部排列を行い，下顎前歯部排列法を習得する。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		下顎前歯部排列において、器具の使用方法を習得する。
第9回 12月4日 木内 香 他	6. 人工歯排列 4) 下顎前歯部排列	- 対合歯の水平被蓋、垂直被蓋を考慮して下顎前歯部排列を行い、下顎前歯部排列法を習得する。 - 下顎前歯部排列において、器具の使用方法を習得する。
第10回 12月11日 木内 香 他	講義 6. 人工歯排列 5) 上顎臼歯部排列 6) 下顎臼歯部排列 (教) pp. 65-76 実習 6. 人工歯排列 4) 下顎前歯部排列 5) 上顎臼歯部排列	- 対合歯の水平被蓋、垂直被蓋を考慮して下顎前歯部排列を行い、下顎前歯部排列法を習得する。 - 下顎前歯部排列において、器具の使用方法を習得する。 - 上顎法の臼歯部排列は歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を習得する。 - 上顎臼歯部排列において、器具の使用方法を学び習得する。
第11回 12月18日 木内 香 他	実習 6. 人工歯排列 5) 上顎臼歯部排列	- 上顎法の臼歯部排列は歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を習得する。 - 上顎臼歯部排列において、器具の使用方法を学び習得する。
第12回 1月8日 木内 香 他	実習 6. 人工歯排列 5) 上顎臼歯部排列 6) 下顎臼歯部排列	- 上顎法の臼歯部排列は歯槽頂間線の法則を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を習得する。 - 上顎臼歯部排列において、器具の使用方法を学び習得する。 - 下顎臼歯部排列は、上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 - 下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯、第二小臼歯、第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い、下顎臼歯部排列法を習得する。
第13回 1月22日 木内 香 他	実習 6. 人工歯排列 6) 下顎臼歯部排列 7. 排列修正	- 下顎臼歯部排列は、上下顎が1歯対2歯に咬合する排列法を説明できる。 - 下顎臼歯部排列は中心咬合位において左右下顎第一大臼歯、第二小臼歯、第一小臼歯第二大臼歯の順に1歯対2歯の排列を行い、下顎臼歯部排列法を習得する。 - 上下顎排列終了後、中心咬合位、偏心位における平衡咬合や審美性等の機能に配慮した排列状態であるか確認し、排列修正を行い、排列修正を習得する。
第14回 1月29日 木内 香	講義 8. 歯肉形成 (教) pp. 76-80 実習 7. 排列修正	- 咀嚼、発音、審美性、舌感や義歯の維持安定を考慮した形態を付与し歯肉形成を行う。 - 上下顎排列終了後、中心咬合位、偏心位における平衡咬合や審美性等の機能に配慮した排列状態であるか確認し、排列修正を行い、排列修正を習得する。
第15回 2月5日 木内 香 他	実習 7. 排列修正 8. 歯肉形成	- 咀嚼、発音、審美性、舌感や義歯の維持安定を考慮した形態を付与し歯肉形成を行う。 - 上下顎排列終了後、中心咬合位、偏心位にお

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		る平衡咬合や審美性等の機能に配慮した排列状態であるか確認し，排列修正を行い，排列修正を習得する。